

Vol.23

伊勢社協





https://ise-shakyo.jp

伊勢市福祉総務課 **☎**21-5557 FAX 21-5555

地域福祉課・中部支所(八日市場町13-1) ☎63-5334·27-2425 FAX 27-2412

ボランティアセンタ **☎**63-6370 FAX 27-2412 生活サポートセンターあゆみ **☎**63-5224 FAX 27-2415

げんここるーむ(小木町曽祢538) 265-6120 FAX 65-6121

東部支所(二見町茶屋456-2) ☎43-5551 FAX 43-4427

西部支所(小俣町元町536) **27-0509** FAX 27-0570

北部支所(御薗町長屋2767) **22**22-6617 FAX 22-6604

## ≪地域福祉活動計画≫ は多にからないないのでは



# 福祉って何だろう?未来を担う高校生が体験学習

伊勢市では市民の皆さんが幸せに暮らせるよう、一人一人ができる役割を担い、人と 人とのつながりを基本として、困ったときに助け合える関係づくりや、お互いに支え合う 地域づくりに取り組んでいます。そこで、ボランティアセンターでは、障がいのある人や 高齢者など、多様な人の生き方に触れることで、「思いやりの気持ち|「優しい心|を育 てることを目的として、小中学生・高校生などを対象に、福祉体験学習を実施していま す。「学校」「社会福祉協議会」「地域」がつながる福祉教育の展開を目指し、私たちの 暮らす社会を支える地域福祉の未来の担い手の育成を推進しています。

# 宇治山田商業高等学校

課題研究「地域ボランティア」を 選択している3年生の皆さん

### ●福祉体験学習を授業に設けた先生

これから先、障がいのある人と関わりを持つかもしれない。だから、障がい のある人の立場となって、その意識を持ち、考え、行動できる人になることを願 い、この授業を設けました。そして、学んだ知識や技能などを基に、障がいのあ る人と地域をつなぐ役割を担う人材になることを期待しています。

### ●倉田 朱羽さん

点字と向き合う貴重な時間でし た。点訳は地道な作業ですが、何よ りもこの作業が視覚に障がいのある 人のためになっていると考えると、と ても大切な作業だと感じました。

### ●橋本 望愛さん

点字を見たことはありましたが、実際に読 んだり、点訳したことはなかったので、良い 経験でした。点字を読む人が読みやすいよ うに打つことは難しくて大変ですが、読む人 のことを考えて打たなければと思いました。







~ 「相手を思って行動する」 ことを実感した、という感想をたくさんいただきました♪~

### ●田所 加帆さん

車いすを動かす前 に一声掛けてもらう だけで安心感が全く 違い、あらためて「相 手の気持ちを思いや る] 大切さを実感し ました。

### ●上野 碧絵さん

どうしたら障がいの ある皆さんが不安にな らないか、家族に負担 がかからないかなど、 しっかり考えられてい て、私も将来ぜひ使って みたいと思いました。

# つながるヒントは?「地域と企業をつなぐセミナー」を開催しました!



第1部では、NPO法人Mブリッジ代表・米山哲司さんの「SDGsの 理念」に関する基調講演と、有緝まちづくり協議会・ボランティアセン ターの地域貢献登録企業による活動報告会、また第2部では、宮川左岸 地域の地域ケア会議を開催し、「住み続けられる地域とは」などをテーマ に、隣席の人と意見交換を行いました。

今回のセミナーでは、SDGsの観点と関連付けながら、私たちが暮ら す地域の特徴や理想像を考えるきっかけとなりました。

今後も地域と企業とが連携した「住みよいまちづくり」を目指した活 動が発展するように応援していきます!



「げんここ 地域福祉通信」は、 地域福祉情報を お伝えする コーナーです。

# 社協はげんきな こころ応援します



時とき 所ところ 対対象 内内容 定定員 申申し込み 問問い合わせ

●伊勢社協マスコットキャラクター

事例 その②

修道地区

シリーズ

# コミュニティカフェで地域のつながりづくり◆◇◆

中村町の桜が丘団地内に地域住民が集う「桜カフェ」が、令和2年8月からスター トしています。

「桜カフェ」とは、地域で活用してもらいたいという個人事務所のスペースで、まず はラジオ体操をして一緒に体を動かした後、健康麻雀・じゃんけん大会など、毎月さま ざまなことをしながら交流を図っています。

カフェに参加することで、顔の見える関係づくりができ、「安心して住み続けられる 地域になればいいな」という思いを持って、地域の皆さんも一緒に運営をしています。

## 参加者の声

近くに住んでいても話した ことがなかった人たちと 話ができて、良かった。

どこに参加しても ほとんどが女性だから、 男性が行ける場所が あってうれしい!

介護のために、 日頃は外出の機会が ないけれど、外出の 良いきっかけになった。

## スタッフの声

- ・参加者が毎回増えてうれしい!
- ワイワイみんなで楽しんでいるの がうれしい!
- ・欠席することを伝えてくれる人も います。言わなきゃいけない場所 があることは、すてきなこと!そ んな場所になってきてうれしい♪



毎月第2水曜日 10:00~12:00

### 場所

## 桜カフェ

(中村町桜が丘100-39)

### 対象者

歩いて来れる人、 家族の送迎が ある人

# 立ち上げや運営で工夫したことは何ですか?

- ・準備段階から地域の皆さんと話し合いながら検討しました。
- ・男性にも来ていただきやすいよう健康麻雀を準備しました。
- ・社協職員や生活支援コーディネーターに相談にのってもら い、修道まちづくり会とつながりを持つことで、お茶菓子 の提供などの協力が得られました。

所 時

福祉健康センター・2階 娯楽室

ハープ演奏とおしゃべりで リフレッシュしませんか?



トセンターあゆみ(福祉健康センタ 階 ise-cswsp@mie.email.ne.jp)< **☎**63−5224 FAX 27 1 2 4 1 5

電話・ファクス・Eメールで、 申 問 20 2月17日別までに、直接または 生活サポ

ひきこもり当事者の家族 (八日市場町13-1) ープ演奏と参加者同士の交流

2 月 24 ]日冰、13時30分~ 15 気軽に参加してください ることで、息抜きができる場所です ひきこもり家族の交流会

♬ :